

*専攻・コース, 学生番号, 氏名を記入してください

専攻・コース

学生番号

氏名

教育実践力育成のための学びの航跡

4つの力の指標と自己評価

<地域教育コース・特別支援教育専攻の教育実践力を構成する4つの力>

A 授業実践力	A1 課題設定・評価・改善力 A2 教材研究力 A3 授業構想力 A4 授業展開力 A5 カリキュラム・マネジメント力	C 人間関係力	C1 対話・コミュニケーション力 C2 学級経営力 C3 保護者・地域社会とつながる力
B 子供理解力	B1 学習者理解力 B2 生徒指導・教育相談力 B3 学習集団づくり力	D 教職として自己を高める力	D1 教師としての使命感・情熱・向上心 D2 教師像・教育観を更新する力 D3 チームとして成長する力

皆さんが記入すべきセルは、「水色」になっています。記入を済ませると、水色から変わりますので、入力し忘れを確認できます。

同様に、担当教員が記入すべきセル(サイン)は、「オレンジ」で示しています。シートは①～⑭まであります。

また、シートは学年進行順になっています。「橙」シートは、記入前に示した目標を確認すべきシートで「青」シートが皆さんが記入するシートです。

なりたい教師像

開始時

1年次 教育実習基礎論 事前の準備で記入

●あなたのなりたい教師像について記入しましょう

記入年月日: 年 月 日

終了時

4年次 教職実践インターンシップ終了後 指導教員面談日までに記入

●卒業後, 1年目にめざす教師像について記入しましょう

記入年月日: 年 月 日

教育実践力の4つの力について、卒業時に達成すべき到達目標（小学校教育専攻・中学校教育専攻・特別支援教育専攻）

4年間の学びで達成すべき目標を示しています。この目標をゴールとして、1年次から講義や演習・実習などの学び、経験を意識し、獲得を目指しましょう

A 授業実践力の構成	卒業時の到達目標
A1 課題設定・評価・改善力	授業反省に基づく自己課題から、実践を多様に評価し異なる観点から柔軟に分析するとともに、継続的に実践を改善し続けることができる。
A2 教材研究力	教育内容の科学的・文化的背景、単元構成および教科書・教具・学習材の特性を理解するとともに、それらの機能を総合的に把握した教材研究・解釈に取り組める。
A3 授業構想力	教育課程の編成原理と学習者の発達特性から授業過程を構想し、指導と評価とが統一された学習指導案を作成できる。
A4 授業展開力	授業場面それぞれのもつ固有な役割と相互の関係性理解に基づき、生起した学習者の表現・思考活動を教育目標へと方向づけることができる。
A5 カリキュラム・マネジメント力	教育課程編成の今日的意義やカリキュラム・マネジメントの方法を理解し、教科等横断的視点から教育実践を評価できる。

B 子供理解力の構成	卒業時の到達目標
B1 学習者理解力	子供の発達段階を、言語や心とからだ等の観点から総合的に理解し説明できる。家庭および地域での実生活、ネットおよびマスメディア等の仮想現実が、子供の発達と人間関係等に及ぼす影響を理解し説明できる。
B2 生徒指導・教育相談力	共感的に対話し、ありのままの子供を肯定的に受容できる。生徒指導・教育相談の基本的知識に基づき子供との信頼関係を構築し、自己指導能力の育成に取り組むことができる。
B3 学習集団づくり力	子供が安心して楽しく学校生活を送れるように、基本的な社会規範やルールのある安全な学級をつくることができる。子供個人の学びと育ちに対する仲間の影響力を見通した学習集団を構想できる。

C 人間関係力の構成	卒業時の到達目標
C1 対話・コミュニケーション力	社会人としての基本的な言動を実践でき、自己や相手の状況をふまえて、適切にコミュニケーションし、役割を意識し協働的に実践に取り組める。また、お互いの学びや健康について相談できる。
C2 学級経営力	子供達の多様な背景や実態に対する適切な子供理解に基づいて、望ましい集団づくりをする基本的な知識・技能を身につける。

C3 保護者・地域社会とつながる力	学校の教育活動, 子供の発達支援・課題解決における保護者・地域社会との連携の重要性および方法を理解し説明できる。学校を支援する協力者・専門機関等を挙げることができ, 目的に即した連携を理解し説明できる。
-------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

D 教師として自己を高める力の構成	卒業時の到達目標
D1 教師としての使命感・情熱・向上心	教師としての使命感・情熱・向上心をもっている。
D2 教師像・教育観を更新する力	今現在の自分の力量をふまえて, 「卒業後, 1年目にめざす教員像」に向かう取り組みができる。
D3 チームとして成長する力	活動を共にする仲間と目標を共有し, 役割を分担してよりよい成果をあげることができる。

教育実践力の4つの力について、1年次に達成すべき到達目標（小学校教育専攻・中学校教育専攻・特別支援教育専攻）

1年次の学びで達成すべき目標を示しています。この目標を意識し、講義、演習等に取り組みましょう。

1年次（1・2学期）は、**教職への意欲向上期**であり、教育実践の世界に誘い、教職に対する夢と希望をさらにふくらませることをねらいとしています。

1年次（3・4学期）は**教職実践理解期**であり、教育実践の諸構成要素および実践に関する知識理解をふくらませ、教育実践観を拡張することをねらいとしています。

A 授業実践力の構成	1年次の到達目標
A1 課題設定・評価・改善力	作成した学習指導案と授業記録から実践の成果と課題を発見できる。
A2 教材研究力	教科書教材の単元構成の特徴を理解できる。
A3 授業構想力	授業をイメージできる学習指導案が作成できる。
A4 授業展開力	作成した授業記録から教師の行為と意図を読み解くことができる。
A5 カリキュラム・マネジメント力	授業の構想・実施・評価の際に学習指導要領が果たす役割を理解できる。

B 子供理解力の構成	1年次の到達目標
B1 学習者理解力	隣接学校段階の児童・生徒との比較から小学校における発達の特徴を理解できる。
B2 生徒指導・教育相談力	生徒指導・教育相談の実践的イメージを持つことができる。
B3 学習集団づくり力	附属小学校教員の講話等から学級における集団づくりの意義を理解できる。

C 人間関係力の構成	1年次の到達目標
C1 対話・コミュニケーション力	視点や問題意識をもって外部講師の話を聞くことができる。
C2 学級経営力	教師の実践と学習指導要領をもとに児童の多様性を理解できる。
C3 保護者・地域社会とつながる力	講義で得た知見を通して家庭や地域での育ちや生活に対する関心が高めることができる。

D 教師として自己を高める力の構成	1年次の到達目標
D1 教師としての使命感・情熱・向上心	学校教育をめぐる普遍的課題に関心をもつことができる。
D2 教師像・教育観を更新する力	教職に対する普遍的な期待を理解できる。
D3 チームとして成長する力	グループ活動等を通して、仲間と学びを深めることができる。

1年次 担当教員との面談の記録(4学期:教育実習基礎論で実施)

事前

教育実践力の4つの力それぞれの卒業時の到達目標・1年次の到達目標を確認し,担当教員と面談で自分が伝えたこと,先生からの助言等,面談内容を記入しましょう

(4学期開始時) 1年次4学期開始前 面談日 年 月 日

教員サイン

<自分が先生に,目標達成において伝えたこと,説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等,記入しましょう>

事後

1年次4学期終了までに担当教員と面談し,自己評価の結果と今後取り組みたい課題への助言等,面談内容を記入しましょう

(4学期終了時) 1年次4学期終了時 面談日 年 月 日

教員サイン

<自分が先生に,目標達成において伝えたこと,説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等,記入しましょう>

1年次 4学期 教育実習基礎論の最終日に自己採点(評価)を記入し,担当教員との面談時に説明しましょう。

1年次の学びを終えてみて,あなたが獲得したそれぞれの力を100点満点で採点してみましょう。そして,その理由を以下の項目に記入しましょう。
(授業や演習など,学べた科目を振り返りながら,理解できた経験を具体的にあげてみましょう)。記入内容は,担当教員との面談の時に説明し,助言を受けましょう。

記入年月日 年 月 日

教員サイン

教育実践力	自己採点(評価) (100点満点)	学べた具体的な内容・授業で理解できた事柄を記入しましょう	2年生において,できなかったことへの解決の取り組みや, やりたいことを記入しましょう。
授業実践力			
子供理解力			
人間関係力			
教師として自己を高める力			

教育実践力の4つの力について、2年次に達成すべき到達目標（小学校教育専攻・中学校教育専攻・特別支援教育専攻）

2年次の学びで達成すべき目標を示しています。この目標を意識し、講義、演習等に取り組みましょう。

2年次（1・2学期）は1年次（3・4学期）から続いて**教職実践理解期**であり、教育実践の諸構成要素および実践に関する知識理解をふくらませ、教育実践観を拡張することをねらいとしています。

2年次（3・4学期）から3年次（1・2学期）は、**基礎的教育実践力養成期**であり、基礎的教育実践力を身につけ、多様な教育実践を経験する中でそれを高めることをねらいとしています。

A 授業実践力の構成	2年次の到達目標
A1 課題設定・評価・改善力	一定の観点から授業の到達点を評価し、改善のための多角的な提言ができる。
A2 教材研究力	実践記録の分析から教材の仕掛けと仕組みを理解することができる。
A3 授業構想力	多様な参加者とともに学習指導案に関するディスカッションができる。
A4 授業展開力	記録をもとに、授業の分析と評価するディスカッションができる。
A5 カリキュラム・マネジメント力	子ども研究と教材研究を統一した学習指導案（細案）を作成することができる。

B 子供理解力の構成	2年次の到達目標
B1 学習者理解力	観察した複数の授業で得た情報をもとに学習者理解を深めるディスカッションができる。
B2 生徒指導・教育相談力	学部講義のディスカッションから生徒指導・教育相談にかかわる教育課題を深めることができる。
B3 学習集団づくり力	授業反省会で得た情報を分析することを通して学習集団づくりの課題を発見できる。

C 人間関係力の構成	2年次の到達目標
C1 対話・コミュニケーション力	これまでの学修成果を駆使して教育実習に参加することができる。
C2 学級経営力	異なる学級授業を比較することを通して学級経営と学習指導の関係を理解できる。
C3 保護者・地域社会とつながる力	学校教育における保護者・地域との連携を観察事例をもとに具体的に説明できる。

D 教師として自己を高める力の構成	2年次の到達目標
D1 教師としての使命感・情熱・向上心	誠実公平かつ責任感を持って子供に接し、子供から学びともに成長することができる。
D2 教師像・教育観を更新する力	学校組織の一員として子供や保護者、地域社会から期待されていることがわかる。
D3 チームとして成長する力	学びを共有し、解決・改善につながる発展的なグループワークができる。

2年次 担当教員との面談の記録(1・3・4学期で実施)

1学期 2年生の到達目標を確認し、担当教員と面談で2年次で取り組みたいことなど、自分が伝えたこと、先生からの助言等、面談内容を記入しましょう

(1学期開始時) 2年次1学期始まる時期 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

3学期 2年次、3学期実習が始まる前までに担当教員と面談し、自己評価の結果と今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習前) 2年次3学期開始時 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、実習における準備や取り組みなど、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

4学期

2年次4学期終了までに担当教員と面談し、自己評価の結果と、今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習後)

2年次4学期終了時 面談日 年 月 日

教員サイン

<自分が先生に、実習での学びの成果の報告、目標達成における伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

2年次 4学期 実習終了後に自己採点(評価)を記入し,担当教員との面談時に説明しましょう。

2年次までの学びを振り返り,あなたが獲得したそれぞれの力を100点満点で採点してみましょう。そして,その理由を以下の項目に記入しましょう。
 (授業や演習など,学べた科目を振り返りながら,理解できた経験を具体的にあげてみましょう)。記入内容は,担当教員との面談の時に説明し,助言を受けましょう。

記入年月日 年 月 日

教員サイン

教育実践力	自己採点(評価) (100点満点)	学べた具体的な内容・授業で理解できた事柄を記入しましょう	3年生において,できなかったことへの解決の取り組みや, やりたいことを記入しましょう。
授業実践力			
子供理解力			
人間関係力			
教師として自己を高める力			

教育実践力の4つの力について、3年次に達成すべき到達目標を立案しましょう（小学校教育専攻・中学校教育専攻・特別支援教育専攻）

4つの力について、2年次までの目標の達成状況および卒業時に到達する目標を確認し、3年次に到達する目標を自らで立案しましょう。

3年次（1・2学期）は2年次（3・4学期）から続いて、**基礎的教育実践力養成期**であり、基礎的教育実践力を身につけ、多様な教育実践を経験する中でそれを高めることをねらいとしています。

3年次（3・4学期）から4年次（1・2学期）は、**発展的教育実践力養成期**であり、教育実践をめぐる新しい課題について理解し、学校現場における自らの実践を振り返り、教育実践力を高めることをねらいとしています。

A 授業実践力の構成	3年次の到達目標
A1 課題設定・評価・改善力	
A2 教材研究力	
A3 授業構想力	
A4 授業展開力	
A5 カリキュラム・マネジメント力	

B 子供理解力の構成	3年次の到達目標
B1 学習者理解力	
B2 生徒指導・教育相談力	
B3 学習集団づくり力	

C 人間関係力の構成	3年次の到達目標
C1 対話・コミュニケーション力	
C2 学級経営力	
C3 保護者・地域社会とつながる力	

D 教師として自己を高める力の構成	3年次の到達目標
D1 教師としての使命感・情熱・向上心	
D2 教師像・教育観を更新する力	
D3 チームとして成長する力	

3年次 指導教員との面談の記録(1・3・4学期で実施)

1学期 3年生の達成目標を立案し、指導教員と面談で3年次で取り組みたいことなど、自分が伝えたこと、先生からの助言等、面談内容を記入しましょう

(1学期開始時) 3年次1学期始まる時期 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

3学期 3年次、3学期実習が始まる前までに、指導教員と面談し、自己評価の結果と今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習前) 3年次3学期開始時 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、実習における準備や取り組みなど、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

4学期

3年次4学期終了までに、指導教員と面談し、自己評価の結果と、今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習後)

3年次4学期終了時 面談日 年 月 日

教員サイン

<自分が先生に、実習での学びの成果の報告、目標達成における伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

3年次 4学期 実習終了後の面談までに自己採点(評価)を記入し、指導教員との面談時に説明しましょう。

3年次までの学びを振り返り、あなたが獲得したそれぞれの力を100点満点で採点してみましょう。そして、その理由を以下の項目に記入しましょう。
(実習や授業・演習など、学んだ科目を振り返りながら、理解できた経験を具体的にあげてみましょう。ボランティア等の活動の内容も含まれます。)

記入年月日 年 月 日

教員サイン

教育実践力	自己採点(評価) (100点満点)	学べた具体的な内容・授業で理解できた事柄を記入しましょう	4年生において、できなかったことへの解決の取り組みや、やりたいことを記入しましょう。
授業実践力			
子供理解力			
人間関係力			
教師として自己を高める力			

教育実践力の4つの力について、4年次に達成すべき最終到達目標を立案しましょう（小学校教育専攻・中学校教育専攻・特別支援教員）

4つの力について、3年次までの目標の達成状況および卒業時に達成すべき到達目標を確認し、自らの4年次の最終到達目標を立案しましょう。

3年次（3・4学期）から4年次（1・2学期）は、**発展的教育実践力養成期**であり、教育実践をめぐる新しい課題について理解し、学校現場における自らの実践を振り返り、教育実践力を高めることをねらいとしています。

4年次（3・4学期）は、**採用前研修期**であり、教育実践を研究する力量及び即実践力としての教育実践力を高めることをねらいとしています。

A 授業実践力の構成	4年次の最終到達目標
A1 課題設定・評価・改善力	
A2 教材研究力	
A3 授業構想力	
A4 授業展開力	
A5 カリキュラム・マネジメント力	

B 子供理解力の構成	4年次の最終到達目標
B1 学習者理解力	
B2 生徒指導・教育相談力	
B3 学習集団づくり力	

C 人間関係力の構成	4年次の最終到達目標
C1 対話・コミュニケーション力	
C2 学級経営力	
C3 保護者・地域社会とつながる力	

D 教師として自己を高める力の構成	4年次の最終到達目標
D1 教師としての使命感・情熱・向上心	
D2 教師像・教育観を更新する力	
D3 チームとして成長する力	

4年次 指導教員との面談の記録(1・3・4学期で実施)

1学期 4年生の到達目標を立案し、指導教員と面談で4年次で取り組みたいことなど、自分が伝えたこと、先生からの助言等、面談内容を記入しましょう

(1学期開始時) 4年次1学期始まる時期 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

3学期 4年次、3学期教職実践インターンシップが始まる前までに、指導教員と面談し、自己評価の結果と今後取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習前) 4年次3学期開始時 面談日 年 月 日 教員サイン

<自分が先生に、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

4学期

4年次4学期終了までに、指導教員と面談し、自己評価の結果と、初任時に向けて取り組みたい課題への助言等、面談内容を記入しましょう

(実習後)

4年次4学期終了時 面談日 年 月 日

教員サイン

<自分が先生に、教職実践インターンシップがでの学びの成果の報告、目標達成において伝えたこと、説明したことを記入しましょう>

<先生からの助言等、記入しましょう>

4年次 4学期 教職実践インターンシップ終了後の面談までに自己採点(評価)を記入し、指導教員との面談時に説明しましょう。

4年間の学びを振り返り、あなたが獲得したそれぞれの力を100点満点で採点してみましょう。そして、その理由を以下の項目に記入しましょう。
(教職実践インターンシップや授業・演習など、学んだ科目を振り返りながら、理解できた経験を具体的にあげてみましょう。ボランティア等の活動の内容も含まれます。)

記入年月日 年 月 日

教員サイン

教育実践力	自己採点(評価) (100点満点)	学べた具体的な内容・授業で理解できた事柄を記入しましょう	初任時において準備したいこと・すべきことを記入しましょう
授業実践力			
子供理解力			
人間関係力			
教師として自己を高める力			

以上を記入後、シート①『なりたい教員像』に戻り、『卒業後、1年目にめざす教師像』について記入した上で、面談を受けましょう。